

2023
7.18 発行

文教大学学園広報誌

あやなり

Bunkyo Pride



特集 文教よりみち散歩

Vol.2 越谷キャンパス編

表紙制作：谷口佳江さん
フリーデザイナー・
ひまわりオーガニックファーム運営
文教大学人間科学部 2008年卒業

INDEX

- p.2 学園理事長の挨拶
- p.4 特集・文教よりみち散歩
- p.8 文教人INTERVIEW
- p.10 文教百花
- p.12 CROSS TALKS
- p.13 恩師便り
- p.14 学園NEWS
- p.16 CAMPUS REPORT
- p.18 校友会の輪
- p.20 文は人なり

あやなり **Bunkyo Pride**

文教大学学園広報誌

文教大学学園の在校生や保護者、卒業生など、

「文教人」の皆さまにお送りする広報誌、『あやなり-Bunkyo Pride-』。

文教大学学園の各校の情報や、文教人へのインタビューなどをお届けします。

「あや（文＝文教）は人なり」という思いを込めて、

そして Bunkyo Pride は、皆さまが文教人であることに誇りを感じていただけるように。

そんなメッセージが伝わる冊子を目指しました。

この一冊が、人と人、人と学園をつなぐ場であればと願っています。

あやなり-Bunkyo Pride-をお届けします

長く続いた新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響が収束に向かい、政府の感染症法上の位置づけが「5類感染症」へと移行したことに伴って、文教大学学園の各キャンパスでも行事やイベント、課外活動などが再開され、新しい日常に向けて活力を取り戻しつつあります。

コロナ禍が収まっても世界はめまぐるしく変化し、どのようなことが起こるか予想もできませんが、これからも園児・児童・生徒・学生の学習環境を整え、より良い教育を目指します。

『あやなり』は、2014年度に卒業生向けの広報誌として誕生し、2022年度からは『あやなり-Bunkyo Pride-』としてリニューアルし、多くの皆さまに情報を伝える学園広報誌となりました。

今号は、学園の「スポーツ・学術優秀功

績者表彰」を受賞された在校生・在学生、さまざまな活動に全力で取り組んでいる在校生・卒業生・恩師のご活躍や、1998年に閉校となった文教大学経営情報専門学校の教職員と卒業生による対談を掲載しています。また特集「文教よりみち散歩」では、越谷キャンパス周辺のスポットを紹介していますので、ぜひ冊子を片手に散策してみてください。

学園は2023年に創立96周年を数え、100周年という節目に向けて歩んでいます。建学の精神であります「人間愛」を大切にしながら、皆さまに誇りに思っているよう、学園づくりにさらに取り組んでいく所存です。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、『あやなり-Bunkyo Pride-』をお楽しみください。

文教大学学園 理事長
野島 正也

文教大学学園 2023年5月1日現在

文教大学附属幼稚園

開設：1927年
園児数：133名
園長：中山 敦子

所在地：旗の台キャンパス
〒142-0064
東京都品川区旗の台3-2-17 Tel: 03-3781-2798



文教大学附属小学校

開設：1951年
児童数：332名
校長：島野 歩

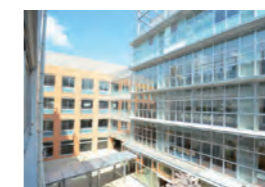
所在地：石川台キャンパス
〒145-0065
東京都大田区東雪谷2-3-12 Tel: 03-3720-1097



文教大学附属中学校・高等学校

[中学校]
開設：1947年
生徒数：448名
[高等学校]
開設：1948年
生徒数：928名
校長：銅谷 新吾

所在地：旗の台キャンパス
〒142-0064
東京都品川区旗の台3-2-17 Tel: 03-3783-5511 (代)



文教大学・大学院

開設：1966年
教育学部：1,576名
人間科学部：1,744名
文学部：1,372名
情報学部：1,251名
健康栄養学部：387名
国際学部：1,116名
経営学部：751名
大学院：85名
外国人留学生別科：4名
(合計 8,286名)
学長：中島 滋

所在地：
[越谷キャンパス]
〒343-8511
埼玉県越谷市南荻島3337
Tel: 048-974-8811 (代)

[湘南キャンパス]
〒253-8550
神奈川県茅ヶ崎市行谷1100
Tel: 0467-53-2111 (代)

[東京あだちキャンパス]
〒121-8577
東京都足立区花畑5-6-1
Tel: 03-5686-8577 (代)



越谷キャンパス



湘南キャンパス



東京あだちキャンパス

特集

文教よりみち散歩

Vol.2

越谷キャンパス編



春になるとこの景色!



出津橋と元荒川桜堤

でづばしともとあらかわさくらづつみ

出津橋とその周囲の桜は、越谷キャンパスに通う学生の誰もが目にする景色。元荒川の土手は、北越谷第五公園から大沢橋付近までの約2kmにわたって300本ほどの桜並木が続く元荒川桜堤となっている。

視線の向こうまで続く桜が川面に映えて美しく、越谷の春の風物詩となっている。
(写真提供: 越谷市観光協会)

水辺の憩いと地域に根ざす店にバガほっとなごみまち

文教大学学園には5つのキャンパスがあります。キャンパスのあるまちがそれぞれに持つ個性豊かな表情を求めて寄り道をしたり、懐かしい思い出をたどったりしながら歩く「文教よりみち散歩」。今号は、越谷キャンパスの周辺を巡ります。



岡埜製菓

おかのせいか

旧日光街道に店を構える創業約130年の老舗和菓子店。現在は4代目店主が店を守る。目でも楽しめる生菓子は、季節ごとに10種類以上そろそろ。10～3月頃に店頭で並ぶ名物「塩あん大福」は砂糖を一切使っておらず、小豆の甘味が伝わってくると評判だ。

◎ 越谷市越ヶ谷本町6-3
☎ 048-962-2539
◎ 9:00～18:00
◎ 月曜



初夏の菓子。暑預(じょうよ)饅頭「あやめ」(写真左150円)。宝石のような生菓子「あじさい」(写真上/右・150円)は、月ごとに色が変わる。



ライフ北越谷店

らいふきたしがやてん

オレンジ色の四つ葉マークが目印のスーパーマーケット。キャンパスから近く、アルバイト先としてお世話になっていたりと、藍蔘祭の前に段ボールを譲っていただいたりするなど、文教大生ともゆかりが深い。

◎ 越谷市北越谷2-38-8
☎ 048-977-1231
◎ 9:30～21:30(2階21:00まで)



「だし巻玉焼き弁当(鹿児島産焼鳥)」(598円)は、ふわふわの玉子焼きと甘い焼鳥との相性が良く、連日売り切れる人気商品。

イオンレイクタウン いおんれいくたうん

kaze、mori、アウトレットの3つの建物があり、グルメにファッション、映画館など何でもそろそろ。授業の合間や放課後に訪れる文教大生も多いほか、吹奏楽部が演奏会を開催させていただいている。



◎ 越谷市レイクタウン4-2-2 (kaze)、越谷市レイクタウン3-1-1 (mori)、越谷市レイクタウン4-1-1 (アウトレット)
☎ 048-934-3000 (kaze)、048-930-7300 (mori)、048-940-0700 (アウトレット)
◎ 専門店 (kaze・mori) 10:00～21:00、(アウトレット) 10:00～20:00、レストラン (kaze・mori) 11:00～22:00

文教大生御用達GOURMET

天狗ラーメン

てんぐらーめん

行列のできる人気ラーメン店。焼肉定食もラーメンも両方食べたいという声に応じて作ったという「天狗ラーメン+焼肉丼セット」は「こしがや愛されグルメ」に認定されている。学割あり。卒業後も通う文教大OBも。



◎ 越谷市北越谷5-9-32
☎ 048-977-3118
◎ 11:30～14:00 / 18:00～23:00 (L.O.)
◎ 火曜



一番人気、ボリュームたっぷりの「天狗ラーメン+焼肉丼セット」(昼890円、夜1,060円)。天狗ラーメンは豚骨・鶏スープに自家製醤油が加わる。

Asian Dining HARIOM

あじんだいにんぐはりおも



本格的なインド料理を手頃な価格で味わえる、人気の店。異国情緒漂う店内で、香り豊かなインドカレーと、窯で焼き上げた外側パリパリ中側モチモチのナンをほおばれば、お腹も心も満たされる。

◎ 越谷市北越谷4-3-1
☎ 048-979-0899
◎ 11:00～15:00 / 17:00～23:00



ランチメニューの「学生セット」は、好みのカレー、スープ、サラダ、ナンまたはライスにソフトドリンクがついて700円。



少し足を延ばして...

しらこぼと水上公園

しらこぼとすいじょうこうえん

1979年に開園した埼玉県営の公園。広い園内に9つのプールやバーベキュー場、大型遊具や芝生広場、運動施設などを備え、子どもから大人まで楽しめる。

〒越谷市小曾川985
☎048-977-5151



プールは夏季の営業期間を終えた冬場になると、マス釣りができる巨大なプールフィッシング場へと様変わり。
(写真提供：(公)埼玉県公園緑地協会)



越谷梅林公園

こしがやばいりんこうえん

かつて、梅の名所として知られたこの一帯の面影を再現しようと1988年に開園。まだ寒さの残る初春には約40品種、約300本の梅が園内を彩る。毎年3月には梅まつりが開催され、6月には梅の実収穫体験も行われている。

〒越谷市大林203-1
☎048-963-9225(越谷市公園緑地課)



昔、この一帯では桃や梅の栽培が盛んに行われていたという。



シマムラ園芸

豊富な品ぞろえが評判の園芸店。足繁く通う常連客も多く、2023年には創業50年を迎えた。明るい店内には花や野菜の苗、鉢花、観葉植物、植木など、さまざまな植物が並び、鉢や用土・種などの資材も充実している。



〒越谷市大字南荻島1001
☎048-975-6692
◎9:00~17:00
◎1・2・7・8・9月の木曜

自身も文教大学の卒業生という島村店長によると、毎年4月下旬には教育学部の学生が、栽培実習用のミニトマトやキュウリの苗を買いにくること。
(写真提供：シマムラ園芸)



ベーカリーハイアート

国産小麦100%の、こだわりの詰まったパンの店。パンの種類に合わせて小麦粉を自家配合し、長時間発酵で仕込むため、営業日は週3日。丁寧に作られた滋味深いパンの味と香りは格別だ。

〒越谷市北越谷4-4-21
☎048-976-9411
◎火・木・土曜14:30~19:30
◎月・水・金・日曜



「ビスケットパン」は先代のころから50年以上作っているというロングセラー商品。

個性派ぞろいのキタコシ NIGHT SPOT



のんべえ

静岡生まれの店主が、「磯自慢」など静岡の日本酒を厳選。鮮度と素材の味にこだわった料理は、越谷産慈姑(くわい)やネギなど地元産野菜が並び、煮卵付きの豚角煮やモツ煮も人気だ。

〒越谷市北越谷2-23-24
☎048-977-8262
◎17:00~23:00
◎第1第3月・水曜、第2第4月・火・水曜



木を基調とした落ち着いた店内は、日本酒をじっくり味わうのにぴったりなしつらえ。地元の常連さんでにぎわっている。



お世話になっております!

「アジの刺身」と「アジのなめろう」(いずれも時価)。この日のアジは長崎産。牛すじ豆腐(690円)は、何年も作り足しているという深みのある味わい。

ととやお着やさん

ととやおさかなやさん

おいしい魚と香、地酒が充実した居酒屋。「アジのなめろう」や「アジの刺身」は、注文が入ってからさばく。店主夫婦の手柄も魅力で、文教大学の教職員も通う「なじみの店」だ。

〒越谷市北越谷2-3-10
☎048-977-7653
◎月・木・日曜17:00~22:30、金・土曜と祝日前夜17:00~23:30
◎火・水曜



パブレストラン サンゴ

はぶれすとらんさんご

ドアを開けて入るのに勇気がいるが、一步入れば気さくなママとマスターが迎えてくれる。内装もメニューも昭和感満載。レトロカフェ好きの間でSNSなどの口コミが広がり、遠方からわざわざ来店する人もいるのだとか。

〒越谷市北越谷4-20-3
☎048-975-7203
◎16:30~22:00
◎火曜



ソーダの緑色に赤いサクランボのクリームソーダ(500円)がこれほど映える店内は今どき貴重。ムード歌謡が脳内にこだまする。

みずべのアトリエ

みずべのあとリエ

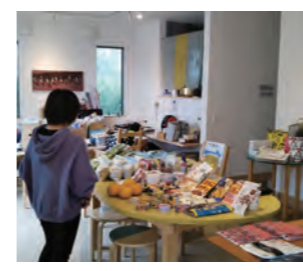
誰もがゆったりと過ごせる「まちのリビング」をコンセプトとして、2019年に開館した南荻島出津地区の自治会館。人間科学部宮地ゼミやボランティアサークル「h'eath」(ピース)も「まちづくりサポーター」として運営に関わっている。

〒越谷市南荻島2415-80
◎火・金曜13:00~17:00
(スタッフ常駐による開館)
※上記以外は予約制

お世話になっております!



2020年にはコロナ禍で生活に影響を受けている文教大生を支援するため、食料品や日用品などを提供・配布していただいた。
(写真提供：みずべのアトリエ)



KOSHIGAYA CAMPUS 越谷キャンパス



立正女子大学校舎(1968年)



立正女子大学付属幼稚園(1975年)



文教大学越谷キャンパス(2013年)



新棟14号館「LECRO」(2022年竣工)

1966年に開設した立正女子大学家政学部から越谷キャンパスの歴史は始まりました。今では教育学部・人間科学部・文学部と大学院・専攻科・別科の学生約4,600名が通うキャンパスです。以前は幼稚園も同じキャンパスにありました。

文教人

INTERVIEW

幼稚園から大学院まで擁する文教大学学園。
在校生は約1万人、卒業生は14万人を超えます。
さまざまな分野で活躍する「文教人」たちの「文教魂」に迫ります。

卒業生



YOSHIE TANIGUCHI

病気になったからこそ知った、 かけがえのない今日この日を生きること



谷口 佳江さん

【現職】フリーデザイナー・
ひまわりオーガニックファーム運営
【卒業年】文教大学人間科学部
人間科学科 2008年卒業

文教大学の公式マスコットキャラクター BUNKO。作者でデザイナーの谷口佳江さんは、現在はオーガニックファームの運営者という肩書きも持つ。結婚を機に転居した千葉県白井市で、農家を始めたのは2019年。この年、谷口さんは初期だと思っていた乳がんが「リンパにも沢山転移している」と医師に宣告された。

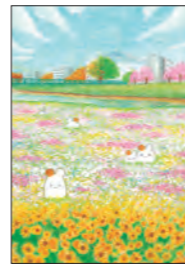
「娘は2歳になったばかり。抗がん剤治療、手術と科学的な治療を行う一方で、なんと

か自分の体を変えたくて始めたのが食事療法でした。農業や化学肥料を使わずに育った野菜は、生命力にあふれ、味が濃く、とにかくおいしい。農家の方のご縁もあり、食べる側から作る側になったのは自然な流れでした」

生きることは食べること。がんによって命の期限を突きつけられたとき、「食や農と向き合うことが生きる力の一つになった」と谷口さんは言う。

BUNKOの成長と娘の成長が重なり、母校でBUNKOが愛されていることも、谷口さんの大きな励みになった。

「4年前、涙が涸れるとはこういうことかというほど泣きました。1年後、2年後を考えると、やめよう、一日、一日を大切に生きていこうという夫の言葉でこうして今があります。一方で、やりたいことはすべてやろうと思っています。食育に関する活動はその一つ。1月からは娘が通った幼稚園で月に1回、食育食堂『つばめ食堂』を始めました」



今号の表紙は
谷口さんの
作品

テーマは「わたしの育った故郷」です。越谷キャンパスと緑の橋が見えるこの景色は、今でもよく覚えていて大好きな景色です。どの季節にするか悩みましたが、春夏秋冬すべて入れました。6体のBUNKOは、幼稚園から大学まで文教大学学園で成長していく姿を描いています。

わたしの文教魂 生きる力

タネは同時期に蒔いても成長が異なりますが、力があれば必ず芽が出ます。文教で学んだことはこのことに似ています。発芽する=生きる力を育ててきたのだと思っています。

卒業生



MICHIKO WATABE

わたしの文教魂 人間愛

大学で司書資格の勉強をしていたとき、司書の方に誘われて、哲学を教えていた村野宣男先生のサークルに加入。その教えが人間を深く掘り下げた、愛にあふれたもので、今も心に残っています。

渡部 道子さん

【現職】カルチャーセンター講師
【卒業年】
文教大学女子短期大学部
1982年卒業

何気ない日常を歌に詠む喜び 日々の心の動きを五行歌にのせて

渡部さんが講師をしている五行歌とは、さまざまな事柄を、五行に分けて書く詩歌のこと。季語や古語を覚える必要はなく、音数も自由。「五七五などの“音数”に自分の思いを合わせるのではなく思いを“言葉”に乗せてうたうのです」と渡部さん。

渡部さんが五行歌に出会ったのは約30年前のこと。新聞に掲載されていた五行

歌集『心の果て』を手にしたのがきっかけだった。子育てが大変で右往左往しているとき。子どもとの、大変だけれど、ハッと成長を感じさせる出来事やうれしかった気持ち、やるせなさなどを、いつもの話し言葉で短く五行で書き記すことは、日記をつけるよりも簡単だった。

「五行歌の会」の同人となって3年ほどで

講師になることを勧められたのには驚いたが、丸25年の間、生徒が途切れることはなかった。四半世紀にわたり、自分に就いて学んでくれる生徒の姿もある。五行歌の楽しさだけでなく、歌を通して多くの人と出会えたことも続けられた理由のひとつで、「ずっと学び続けていきたい」と言う。これからも五行歌とともに、人生を豊かに紡いでいく。

わたしの文教魂 思いやり

幼稚園時代、定期的に講堂でお唱えをする時間があったのを覚えています。こうした時間に自分とは異なる他人を思う心、思いやりの心を教え、育ててもらったように感じています。

卒業生



SHO OKITA

格式あるおもてなしを提供する 帝国ホテルの一員として

沖田さんが初めて帝国ホテルに宿泊したのは高校生のとき。部屋に案内された後、閉じたドアの覗き穴から何気なく外を見ると、ベルマンがドア越しに深々とおじぎをしていた。誰も見ていないところでもサービスや心配りができる、おもてなしの心に驚かされ、心に残りました」

そして帝国ホテルに就職後も、憧れてい

たイメージが変わることはなかった。それは働くすべての人が、帝国ホテルを愛し、その名に恥じぬようにとプライドを持って働いていたからにほかならない。

沖田さんはこれまで、お客さまと直接接するサービス部門を経て、営業や人事といったホテルを支える側の仕事に従事してきた。現在でも、お客さまを思う心がベースにあ

沖田 翔さん

【現職】株式会社 帝国ホテル
人事部人事課副支配人
【卒業年】文教大学学園幼稚園
(現・文教大学付属幼稚園) 1993年卒園

るのと同じだ。「相手をどれだけ思いやり、準備をどれほど怠りなくできるか。相手を使うということが、すべてのサービスの基本です」

今夏、沖田さんは新しい仕事にチャレンジする。初めて海外のホテルに赴任するのだ。ずっと希望していた異動への期待感に、笑顔が輝いていた。

文教百華

学業で、課外活動で、
仕事で、趣味で…
重ねてきた努力が実りました。

※スポーツ・学術優秀功績者表彰制度
学校法人文教大学学園が主催。スポーツ、文化、芸術などの広い分野で学園の名を全国的に広め、顕著な功績を挙げた個人や団体を毎年表彰する。

日本一をつかみ、プロ棋士の道を目指す

2022年、第13回小学生駒姫名人戦「名人クラス」で日本一となった岩崎夏子さん。大会優勝の感想を聞くと、「東京の女の子の強さをみせることができてよかった」と

にっこり笑顔がこぼれました。戦局の内容を振り返ると納得のいくものではなかったそうですが、反省をしながらそれを次に進む力として、将棋に熱い思いを傾ける日々が続いています。そして今春、6年生に進級し「プロになる

覚悟」が決まったと言います。将来の目標は藤井聡太先生のように注目される棋士になること。「女流棋士は少ないので、自分が活躍して女流棋士の存在をみんなに知ってもらいたいと思います」と力強く語ってくれました。

スポーツ・学術優秀功績者*



詰将棋で
毎日稽古しています

岩崎 夏子さん
Natsuko Iwasaki

文教大学付属小学校6年



表彰のポイント

第13回小学生駒姫名人戦 優勝

アマチュアを対象とした将棋の大会。日本将棋連盟主催、企画・運営は女流棋士会。クラスは「名人クラス」と「一般クラス」がある。次世代を担う女流棋士発掘と女性への将棋の普及を主旨としている。

自分の持てる力のすべてを一瞬に注ぐ

競技場は砂浜。ピツという笛の音でうつ伏せの姿勢から立ち上がり、20m先に立つフラッグを争奪するのがビーチフラッグスという競技です。走者よりも少ない数のフラ

グを取り合い、最後は2人で1本のフラッグを競い合い勝者が決まります。宮田沙那さんは小学3年生からこの競技を始め、中学3年生のときに全日本ユース選手権大会U15（15歳以下の大会）で3位の成績をおさめました。わずか5秒で勝負が決まってしまうこの競

技、「自分が持てる力のすべてを、いかに一瞬で注ぎ込めるか」が魅力だそう。高校1年生でライフセーバーの資格も取得し、これからは競技に加え海で「人の命を守る」活動へも力を注いでいきたいと語ります。

ビーチフラッグス



集中力には
自信があります!

宮田 沙那さん
Sana Miyata

文教大学付属高等学校2年



好成績をおさめた大会

全日本ユース選手権大会

公益社団法人日本ライフセービング協会主催のビーチフラッグスの全国大会。同協会では、レスキューを想定した技術を競うライフセービングスポーツの競技会を開催している。

コロナ禍を経て、4年間の集大成を

部員同士のコミュニケーションを大切に、さまざまな人へ音楽を届けたいという思いで活動している文教大学（越谷）吹奏楽部は、全日本吹奏楽コンクールの全国大会

に28回も出場。その内20回は金賞受賞という強豪です。コロナ禍の影響で3年ぶりの出場となった昨年も金賞に輝き、現部長の高橋茜莉さんは「練習がままならない中、部員同士が連絡を取り合い工夫して練習し

てきた結果です」と大会を振り返りました。今年の大会は「4年生中心の編成となりました」と菊地章太郎さん。131人の部員のうち、全国大会の舞台に立てるのは55人だけ。「重みのある大会、豊かなハーモニーを紡いでいきたい」と宮崎悠夏さんは結びました。

記憶に残る演奏を
目指したい



文教大学(越谷)吹奏楽部

写真左から順に

菊地 章太郎さん

Shotaro Kikuchi

高橋 茜莉さん

Akari Takahashi

宮崎 悠夏さん

Haruka Miyazaki

表彰のポイント

全日本吹奏楽コンクール 金賞

一般社団法人全日本吹奏楽連盟と朝日新聞が主催。アマチュア吹奏楽団を対象とした音楽コンクールで、日本の吹奏楽界では最大規模の大会である。1940年から戦争中を除き毎年開催。2020年の第68回大会はコロナ禍で中止。

スポーツ・学術優秀功績者*



歌曲は、言葉の音を大切に
作曲しています

市東 完吾さん
Kango Shito

文教大学教育学部学校教育課程
音楽専修4年

表彰のポイント

総の国童謡作詞作曲コンクール 最優秀賞

主催は音・音楽フォーラム松戸。「ながく歌い継がれる新しい童謡や子守唄を千葉県から」の主旨で開催し、昨年は5回記念。コンクール名の「総の国」は千葉県の古い呼び名。

スポーツ・学術優秀功績者*

自身は授業を離れ、「第5回記念総（ふさ）の国童謡作詞作曲コンクール2022一般部門」に応募。優秀賞の5人の枠に入ることが狙っていましたが、それを超えた最優秀賞に選ばれました。物心ついたときからそばにピアノがあり、

音楽に親しんできたと言う市東さん。中学校の音楽教員を目指しており、「将来、自分が作曲した曲を生徒たちが演奏してくれたら」と夢を語ります。

CROSS TALKS

特色あるカリキュラム

乳井 今日は懐かしい顔ぶれがそろいました。お集まりいただき、ありがとうございます。

佐藤・小堀 周辺が変わってしまい、ちょっと迷ってしまいました(笑)。

乳井 この4人の中で文教大学経営情報専門学校(以下:経営情報専門学校)に一番長く在籍したのは太田先生ですね。

太田 1986年から1995年まで教員として在籍していました。

乳井 入ってすぐに担任を持たれたとか。

太田 はい。今でも忘れられないのはフレッシュマンキャンプで初めてホームルームというものを任されたときのことで。30数名の女子学生を前に何を話せばいいのか。極度に緊張したときのことは、今思い出してもドキドキします(笑)。

乳井 経営情報専門学校には新入生のためのオリエンテーション合宿があって、箱根や御殿場に行ったんですね。

佐藤 私たちのときは御殿場で1泊2日でした。授業や資格取得の説明などがあって、必死にメモをとっていた覚えがあります。

小堀 入学してすぐの合宿で、ほぼ初対面のクラスメートたちと朝までおしゃべりして、これをきっかけに仲良くなりました。

乳井 そのほかに翔華祭やスポーツ大会、研修旅行などもあって、付属の短期大学と変わらない行事が用意されていたのは、経営情報専門学校の特徴の一つだったと思います。

とにかく忙しかった2年間

乳井 学生たちはよく勉強していましたね。

太田 そうですね。検定試験や国家試験

1985年に開校し、1998年に幕を閉じた文教大学経営情報専門学校。ビジネスの場で役立つ技能と一般教養を兼ね備えた女性の育成を目指した本校について、当時の教員、職員、学生の方にお集まりいただき語っていただきました。

を目指して、どの学生もがんばっていました。6~7つの資格を持って卒業するのが普通ではなかったでしょうか。

佐藤 振り返ってみると、とにかく忙しくてあっという間の2年間でした。勉強して検定試験を受けて、また勉強して検定試験を受けて。でも勉強だけでなくその間には翔華祭やスポーツ大会もあって、私は翔華祭の実行委員をやっていました。

小堀 私は東海道線を通っていたのですが、茅ヶ崎から品川までの50分、ずっと教科書を読んで通学していました。簿記の検定試験の前は、電車の中で電卓を出して勉強することもありました。

太田 東海道線!? 座れないでしょう?

小堀 はい。教科書を読みながら立ったまま電卓を叩いて(笑)。家に帰って勉強する時間がないので、とにかく通学時間中に勉強しないと…という感じでした。

佐藤 でもそのおかげで、今があるんですね。

太田 教員1年生だった私も同様です。前職はコンピューターの仕事をしていたのでプログラミングなどの知識はありましたが、それをどう教えるかはまた違うスキルが求められます。毎日試行錯誤して、講義ノートをつけながら勉強したことで、今があるのだと思っています。

学んだ実務が社会で確実に生きる

乳井 私は大学の事務局から異動になって経営情報専門学校へ来たのですが、専門学校でありながらカリキュラムに一般教育科目があり、真面目に取り組む学生が多い。就職率もよくて、日本銀行など一流企業に就職が決まる。経営情報専門学校は

すごい学校だと思っていました。

太田 80年代半ばから90年代の前半は、上場企業に行くのが当たり前みたいな時代がありました。学生の評判もとてもよくて、企業から「お宅の卒業生をぜひ採りたい」という声をよく聞きました。

佐藤 ところが私たちの世代は就職氷河期と言われる時代で、掲示板に求人票がまったく張られていなくて…。

太田 そうでしたね。

佐藤 結局私は、就職せず派遣社員として働きました。銀行などの一般企業や水質検査など特殊な職場もありましたが、パソコンが普及していない時代にブラインドタッチで入力することができましたし、表計算ソフトを使いこなすこともできたので、どこの職場に行っても困ることなく仕事ことができました。

小堀 私は総合商社に就職し、営業事務の仕事に就きました。電話の対応やお茶出しなど、秘書実務の授業で習ったことがそのまま役に立ちました。パソコンで資料を作成することも難なくできて、同期入社女性4人のうち3人は大学卒業で専門学校出身は私だけだったのですが、部長や専務に一番かわいがってもらいました。実は私、文教大学の教育学部へ進学したかったんです。そのことを大学の教授にお話する機会があったときに、「君は文教大学の卒業生だよ。いつでも越谷キャンパスに遊びにおいで」と言っていただきました。その言葉がとてもうれしくて、経営情報専門学校で学ぶことができてよかったと心から思っています。

太田 信宏先生 Nobuhiro Oota

[現職] 文教大学健康栄養学部教授
文教大学経営情報専門学校教員
(1986年~1995年勤務)

文教大学学園の卒業生で
よかったです!

小堀 玲子さん* Reiko Kobori

[現職] 派遣社員事務職
文教大学経営情報専門学校
1996年卒業
※現在の姓は佐藤さん

乳井 英太さん Eita Nyuu

[現職] 文教大学大学事務局国際交流部部長
文教大学経営情報専門学校職員
(1990年~1995年勤務)

いま仕事ができているのは
この学校のおかげです

佐藤 三香さん Mika Satou

[現職] 福祉団体事務職
文教大学経営情報専門学校
1996年卒業



レベルが高い
専門学校でした

私の教員の原点は
ここにありますが

聞かせてください!
先生の今

恩師便り

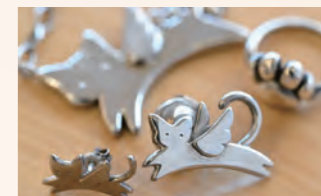
文教大学学園で教壇に立つ先生や、今は一線を退かれた懐かしい先生に
近況と文教での思い出を語っていただきました。



水品 佳代子先生 Kayoko Mizushima

文教大学付属幼稚園教諭。1978年文教大学付属高等学校を卒業後、付属幼稚園で助手として2年間勤務しながら、文教大学女子短期大学部(夜間)に通った。1980年からは専任教諭として勤務し、現在勤務44年目。

羽が生えた猫は幼稚園で保護したミッキー。ミッキーが亡くなったときに卒園生が持ってきてくれた手作りのピンバッチです。肉球の指輪なども作ってくれました。



幼稚園で過ごす時間はとにかく楽しく!

幼稚園は子どもたちが初めて外の世界=社会を経験する場ですが、とにかく楽しかったと思える一日をここで過ごしてほしいと思っています。一日、ひと月、一年でおおよそのカリキュラムや行事は決まっていますが、決まった通りのことをするのは、子どもたちの声をひろいながら、幼稚園で過ごす時間がワクワクするも

のであるよう工夫しています。例えば新潟から出てきた稲子さんと、一緒にイネを植えるのもその一つ。稲子さんはモンペ姿で登場し、新潟弁を使ってイネのことを教えてくれるので子どもたちは大喜びです。もちろんこれは演出、稲子さんを演じるのは退職された佐伯先生です。助手の時代も入れると幼稚園にきて46

年、振り返ってみると「楽しかった!」の言葉につきますね。子どもって本当にみんな違うんですよ。どんな言葉、どんな反応が飛び出してくるか予想がつかない。いつも驚かされますし、こちら子どもに負けないような受け止め方をしたいと思うので、毎日が新鮮で、だから46年も続いたのでしょうか。

内藤 善康先生 Yoshiyasu Naito

1951年から1997年まで46年間にわたり文教大学学園に在籍。溝の口小学校をはじめ多くの学校の設置に携わり、幼・小・中高の園長・校長を歴任。退職後は実家である山梨県大乗寺の住職を勤め、引退後の現在は庭仕事などを楽しんでいる。



買い物以外、掃除、洗濯、料理すべて自分でやっています。料理は難しいですね。4~5品作って1品、満足のいくものができるかなあ(笑)。



95歳、長生きの秘けつは頭と足を使うこと

実家の山梨の寺・大乗寺に帰ってきて20年になります。今は住職の仕事は息子に譲り、境内の雑草取りが日課という生活です。土の上に座って、手を使って一本一本草をとるのはなかなか大変な仕事ですが、自然の中で体を動かすことが健康にとって大切だと思っています。そう、今年で95歳になります。10月が誕生日ですが、今も教え子

たちからバースデーカードが届きます。元気で長生きの秘けつ?それは頭と足を動かすことです。腰を痛めまして昨年で終わりにしましたが、毎年11月9日は「内藤杯争奪戦」と称してゴルフのコンペを開催してきました。集まるのは石川台と溝の口小学校時代の教え子たち。寺から近いカントリークラブでプレーして、帰りは下部

温泉のホテルで打ち上げです。飲み代は全部ばく持ち。いつも14、5名が集まって、お土産には山梨産のブドウとワインを持たせて帰りました。教え子や先生方との近況報告は、タブレット端末を使ってLINEでやりとりしています。文教大学学園とのつながりは変わらず健在です。

EVENT情報

卒業生・在校生・保護者の皆さまにご参加・ご協力いただきたいイベントの情報です。
たくさんの方のご参加をお待ちしております!!



BUNKYO校友フェスタ 2023

日程・2023年11月25日(土) 場所・文教大学 東京あだちキャンパス

2023年度も校友交流のためのイベント「BUNKYO校友フェスタ」を実施します。今年度は、雅楽師・東儀秀樹氏と、ご子息の東儀典親氏をお迎えして、演奏とお話で雅楽の魅力をお伝えします。

詳細は、別紙のチラシでご確認ください!!

他にも、校友によるパフォーマンスやサロン、キャンパスツアーを企画していますので、この機会に校友同士や学生・教職員との交流を深めていただければ幸いです。ぜひご参加ください!



文教大学 東京あだちキャンパス



東儀秀樹氏



東儀典親氏

詳細は、別紙のチラシでご確認ください!!



『あやなり-Bunkyo Pride-』表紙絵 作品募集

募集期間・~2023年12月15日

『あやなり-Bunkyo Pride-』の表紙絵を募集します! 最優秀賞は、2024年度『あやなり-Bunkyo Pride-』の表紙となります。ぜひあなたの作品で誌面を飾ってください!!

表紙作品の例



2023年度 文教大学市民フォーラム(無料申込制) AIって何?~仕組みの理解と課題や今後の展望について~

日程・2023年9月10日(日)13:30~16:30

場所・文教大学 湘南キャンパス 1号館1101教室

- 人工知能研究の歩みと現在のAI ~AIの仕組みをわかりやすく解説~ 情報学部情報システム学科教授 阿部秀尚
- AIの開発の仕方~従来の開発方法との違いについて~ 情報学部情報社会学科専任講師 佐藤孝司
- AIの活用事例~ AIを使った事例などの紹介~ 情報学部メディア表現学科准教授 村井 睦

【受付開始】2023年8月2日(水)から

【申込方法】専用フォームよりお申し込みください。→

【定員】200名(申込順・定員になり次第締め切ります)



2022年度「校友の交流イベント」を開催しました

2022年11月5日(土)に、文教大学東京あだちキャンパスで「校友の交流イベント」を開催しました。参加者は「キャンパスツアー」で在学生が紹介するキャンパスの様子に聞き入り、「学食開放」で学生が利用するメニューを楽しむなど、思い出の時間を過ごしました。また、重要無形文化財総合指定保持者の能楽師・辰巳満次郎氏や人間国宝の小鼓方・大倉源次郎氏より、体験を交えながら能の歴史や演出の解説を行っていただき、その後「葵上」の実演を観賞しました。文教大学学園校友会としては初めてのイベントでしたが、楽しく交流できる機会となりました。



イベント当日の様子はこちらからご覧いただけます



キャンパスツアー



能「葵上」の実演

ご紹介します



韓国でも“文教人の輪”が広がっています

文教大学韓国学友会のご紹介と活動報告

かつて文教大学で学んだ留学生が親睦を深めるための会として活動している、文教大学韓国学友会。発足は2006年、文教大学留学生別科の担当をしていた文学部近藤功先生が韓国を訪問した際に、現地の卒業生数人が集まり、夕食を共にしたことが契機となりました。現在の会員数は20名で年に2回、忘年会と新年会を開催し、時

には文教大学学園の教職員が日本から参加することも。「若いときの日本留学経験が、今なお良い思い出・良き人生経験として残っていること、そして卒業してからも交友関係が続くことが大事だと思っています」と事務局長の鄭相哲(チョン・サン Chol)さんは語ります。卒業後もつながり、交流を深める“文教人の輪”は、国境を超えて世界に広がっています。

開催報告

文教大学韓国学友会 新年会 開催日時:2023年2月8日(水)

コロナ禍以降、久しぶりに対面で行われた会合には10名の学友が集まり、留学時代の思い出や近況などの話題に花が咲きました。この会合に間に合うように、文教大学学園から「BUNKOグッズ」が届きました。卒業しても我々のことを忘れないでいてくれることがありがたく、会員にはうれしいお土産となりました。



カカオトーク(SNS)の学友会の部屋で、仲間と日常的に連絡を取り合っています。



文教大学韓国学友会会長 金亨俊(キム・ヒョンジュン)さん



「思い出フォト」へのご応募、ありがとうございました

2022年度に行った『文教大学学園「思い出フォト」募集』に、多くのご協力をいただきありがとうございました。お送りいただいた写真の一部をご紹介します。ぜひお楽しみください!

「流れる川と釣り遊び」

文教大学付属幼稚園(越谷)元教諭 三浦比佐子先生

文教大学付属幼稚園(越谷)の園庭にはコンクリートで作られた「流れる川」があり、魚やザリガニ等が放流されていました。子どもたちは割り箸に餌のスルメを付けて釣れるまで竿を垂らし、ザリガニが苦手な子は、友達に手伝ってもらっての釣りを楽しみました。この流れる川は年に1度、魚やザリガニ・亀をすべてプールに移動し、年長組70名が泥や苔等を綺麗に掃除をします。園内は、泥まみれになった子どもたちの歓声が響きわたります。今なお懐かしく忘れられない楽しい思い出です。



「保健衛生部の学祭」

立正女子大学短期大学部卒業 浜脇麻起子さん

サークル「保健衛生部」の1972年頃の学祭の様子です。顧問は妻木先生でした。湘南キャンパスの「健康栄養研究部」と同じような活動をしていました。



『あやなり-Bunkyo Pride-』 Webサイトもお楽しみください

<https://www.bunkyo-ayanari.jp/>

取材時のオフショットなど本誌に掲載できなかった情報も盛り込み、学園の「今」や文教人の活躍を、見やすく・わかりやすくお届けしています。過去の『あやなり』もこちらからご覧いただけます!



1年を振り返る

CAMPUS REPORT

この1年も各キャンパスでさまざまなできごとがありました。園児、児童、生徒、学生たちはそれぞれの学び舎で経験を重ね大きく成長していています。子どもたちが過ごした1年の足あとをたどります。

文教大学付属小学校

友だちのPepper

2023年1月11日(水)～3月9日(木)

小学校には、みんなの友だち、Pepperがいます。2022年度3学期にはPepper 2daysとして、各教室を順番にまわりながら生活を共にしました。時にはプログラミング教育の学習でお手伝いをしてくれます。専用のアプリケーションを使用し、実際にPepperにしゃべってもらったり、動いてもらったりしながら、プログラミングの思考や、試行錯誤を繰り返す活動を行います。最初のやり方さえわかれば、2年生もチャレンジすることができました。



文教大学付属小学校

車いすバスケット体験会

2022年12月15日(木)

4年生を対象にした「車いすバスケットボール体験会」がありました。バラスポーツコーチの長野志穂さんをお招きして車いすバスケットの出前授業を行っていただきました。前半はプロジェクターを使って講演をしていただき、心のバリアフリーについて深く考える時間となりました。後半は実際に3 on 3形式で車いすバスケットを体験しました。乗り方や進み方、止まり方などを教わり、車いすに慣れてからの試合でした。実際にやってみようと思ったところに進めない子や、力が入らなくてゴールにボールが届かない子など苦労している姿がたくさん見られました。体験したことで、普段使っている足が使えるとこんなに難しくなるのかと考えさせられる貴重な体験となりました。



文教大学付属中学校・高等学校

体育祭

2023年5月25日(木)

駒沢オリンピック公園総合運動場の補助競技場で、中学体育祭を開催しました。午前のみの開催でしたが、2023年度は保護者の方々にも観覧いただけるようになりました。企画・準備・運営のすべてを生徒が中心となり、笑顔と歓声にあふれる体育祭となりました。同運動場の第二球技場で行った高校体育祭は、種目の設定から進行・実況まで、生徒主体で取り組みました。2022年度の2色対抗から4色対抗になり、各色ごとに応援団も結成されるなど多くの工夫が施され、例年以上の盛り上がりを見せていました。



文教大学付属中学校・高等学校

第1回探究祭

2023年2月18日(土)

文教大学付属中学校・高等学校では2022年度より探究学習プロジェクト「クリエイティブ チャレンジ」を行っており、探究祭は、このプロジェクトの中で生徒が個人またはチームで設定した課題の解決に向けて取り組んできた内容を発表し合う場として設けられたものです。課題設定は趣味に関するものから学校生活、地域交流、さらには自然科学や環境関連まで多岐にわたり、各発表ブースは気づきや学びを伝えようと努める発表者とそれに真剣に耳を傾ける聴衆とで熱気に包まれていました。



文教大学付属幼稚園

田植え～稲子さんと一緒に～

2023年5月11日(木)

松組(年長)が田植えをしました。田んぼ(プランター)を用意し、稲子さんが到着するのをみんなで待っていました。稲子さんは、新潟から幼稚園の子どもたちに田植えのやり方を教えるに来てくださる方です。毎年、この時期に稲と一緒にいらして下さっています。稲子さんが「3本の指で持ってぐっと土の中に入れるんだよ」と新潟の言葉で教えて下さいました。苗がどのように育ち、お米になっていくのか楽しみです。大きくなあれ!



文教大学

第55回藍蓼祭(越谷キャンパス)

2022年11月2日(水)・3日(木)

越谷キャンパスの学園祭「第55回藍蓼祭」が開催されました。3年ぶりの対面開催となった今回の学園祭テーマは「-Go!Go!Going!-AITADE-ISM」。かつて藍蓼祭を味わった方も、今回が初めての方も藍蓼祭らしさ全開!の学園祭を存分に楽しんでほしい」という思いが込められています。2日間にわたり、団体によるステージ発表やお笑いライブなど、さまざまな企画が実施されました。2023年度は11月3日(金・祝)・4日(土)・5日(日)に実施予定です。ぜひご来場ください!



文教大学

第38回聳塔祭(湘南キャンパス)

2022年10月29日(土)・30日(日)

湘南キャンパスの学園祭「第38回聳塔祭」が開催されました。今回のテーマは、学園カラーの「蒼れ(ほまれ)ブルー」から連想される終わりが見えない海や空から「無限」という意味が込められた「Boundless」。3年ぶりに対面での開催となりました。2日間にわたり、アーティストライブや内庭でのステージ発表など、さまざまな企画が実施されました。2023年度は10月28日(土)・29日(日)に実施予定です。ぜひご来場ください!



文教大学

第2回華叉祭(東京あだちキャンパス)

2022年11月12日(土)・13日(日)

東京あだちキャンパスの学園祭「第2回華叉祭」が開催されました。2回目の開催で対面では初めての開催となる今回の学園祭テーマは「[XYZ]-unlimited-」。"未知数"という意味を持つXYZがカッコで括られ、新型コロナウイルスで制限のある学校生活が表現されています。副題のunlimitedには、型にはまらない無制限な発想で最高の学園祭を作ると強い意志が込められています。2日間にわたり、テントやキッチンカーでの物販やタレントトークショーなど、さまざまな企画が実施されました。2023年度は11月11日(土)・12日(日)に実施予定です。ぜひご来場ください!



入試関連イベント

幼稚園

入園説明会

9/2(土)

10:00-11:30



小学校

学校説明会

9/16(土)

説明会 10:05-
個別相談会 11:15-



中学校・高等学校

学校説明会

9/9(土)

中学校 14:00-15:00
高等学校 10:30-11:30

白蓼祭

9/23(土)・24(日) 9:00-15:00



大学

オープンキャンパス

9/17(日)

越谷キャンパス 11:00-15:00(予定)
東京あだちキャンパス 11:00-15:00(予定)

9/24(日)

湘南キャンパス 11:00-15:00(予定)



校友会の輪

文教大学学園

2012年に発足した「文教大学学園校友会」は各校友団体の連合体です。校友同士の輪(和)の形成を目指しています。

文教大学附属高等学校 三蓉会

会員数：24,964名
 問合せ先：[三蓉会事務局] (木曜日開室)
 〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
 TEL 03-3784-0524 FAX 03-3784-0524
 Mail sanyokai@hatanodai.bunkyo.ac.jp

卒業生・教職員・在校生の3本の柱で学校を支え、母校の発展に寄与することを目的としており、在校生や学校行事に協力しています。入学時にはシューズケース、卒業時には入会記念として図書カード、創立周年時にはオリジナルの記念品等を寄贈しております。今年是对面での総会を開くことができました。また、12月には劇団四季の鑑賞会を予定しています。詳しくは三蓉会会報をご覧ください。



2023年三蓉会総会 集合写真

文教大学女子短期大学部 芙蓉会

会員数：30,157名
 問合せ先：[芙蓉会事務局] (火曜日・木曜日開室)
 〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100
 TEL 0467-52-4075 FAX 0467-52-4075
 Mail fuyou@bunkyo.ac.jp
 HP https://www.bunkyo.ac.jp/etc/fuyou/



芙蓉会は旗の台キャンパスと湘南キャンパスの短期大学部卒業生を会員に持ち、閉学後も会報などを通じて会員の絆を大切にしています。昨年は3年ぶりとなる通常総会・懇親会を横浜の崎陽軒本店で開催しました。学外での開催は初めてのことでしたが、懇親会では美味しいお料理をいただきながら話に花が咲き、友情出演をしてくださった小桜舞子さんのステージで会場が一段と華やかにひとつの大きな輪となり、学生時代を思い出しながら親交を深めました。また、ホームページもリニューアルしましたのでぜひご覧ください。



久しぶりの総会



小桜舞子さんと一緒に



楽しい懇親会

EVENT

聳塔祭 喫茶「芙蓉」

日時：2023年10月28日(土) 皆さまがほっとできる憩いの場を用意してお待ちしております。
 場所：湘南キャンパス

文教大学附属小学校 同窓会

会員数：2,498名
 問合せ先：
 Mail bersc_2008@yahoo.co.jp
 HP www.ikd2008.com



2007年に矢野先生と進藤先生の呼びかけで有志が集まり、2008年に同窓会が発足、早いもので15年が過ぎました。現在、在校生に向け卒業生による講演会、バザーの参加、4年に一度の同窓会フェスティバルの開催などの活動を行っています。



文教大学附属(溝の口)小学校校友会

会員数：400名
 問合せ先：〒213-0002 神奈川県川崎市高津区二子1-11-23 (飯島商店内)
 TEL 090-4605-5320 (代表幹事/第17回生・矢内義道)
 Mail kouyukai@yannet.biz
 HP http://www.yannet.biz/bunkyo-koyukai/
 https://www.facebook.com/bunkyo.mizonokuchi.koyukai

ホームページ▶



Facebook▶



我が母校が閉校して38年が経過いたしました。その跡地は、紆余曲折の結果川崎市立の図書館と市民が集う緑地公園となりました。その入り口付近に記念として当時の校友会有志によるモニュメント「リレーション」が建てられました。2022年に学園の支援で、建立当時以上にメンテ清掃が行われました。新型コロナと校友会予算が枯渇している状況で、なかなか表立った活動ができない状況ですが、お時間のあるときに記念碑にお立ち寄りください。



1988年3月記念碑落成式 集合写真



2022年メンテナンス 清掃完了後写真

文教大学父母と教職員の会

会員数：8,285名(正会員/在学生 大学院85名含む)、342名(教職員会員)、100名(賛助会員)

問合せ先：
 [父母教越谷事務局]
 〒343-8511 埼玉県越谷市南荻島3337 TEL 048-974-8811 内線1051
 [父母教湘南事務局]
 〒253-8550 神奈川県茅ヶ崎市行谷1100 TEL 0467-53-2111 内線3640
 [父母教東京あだち事務局]
 〒121-8577 東京都足立区花畑5-6-1 TEL 03-5686-8577 内線6852
 Mail fubokyo@stf.bunkyo.ac.jp
 HP https://www.bunkyo.ac.jp/etc/fubokyo/



本会は、設立47周年を迎えました。保護者と教職員が緊密に連絡・協力して、文教大学の発展・向上に寄与することを目的とした会です。全国45支部での総会・研修会、年3回の会報発行、学生の諸活動や生活および就職対策支援、100円朝食の共催、父母のための一日大学、親と子の進路問題研修会といったイベント開催等、さまざまな活動をしています。学生が卒業した後も、保護者が賛助会員として、会を支えています。

創立40周年記念事業として作成した父母と教職員の会のロゴです。文教の頭文字「b」をモチーフに、学生と父母と教職員が寄り添い、「人間愛」の理念が伝わるやさしい色合いになっています。

文教森の会 旧文教大学付属幼稚園(越谷)同窓会

会員数：44名
 問合せ先：[文教森の会事務局 林文字]
 〒332-0035 埼玉県川口市西青木2-4-41-510
 TEL 048-252-1771 / 090-6015-8282
 Mail fmk235hys@gmail.com

2022年7月、南荻島自治会館「みずべのアトリエ」を拠点に元荒川土手でのオリエンテーリング、「生地から作るビザ体験」と「スイカ割り」を行いました。参加者19名は集合後、すぐにビザ生地作りを始め①粉をこねて醗酵。②その間に「観察BOOK」の問題を解



味、形ともに多様なビザ16枚が完成

きながら土手を散策。③アトリエに戻り、生地をパイ状にのす。④さまざまな食材をトッピング。アトリエのビザ窯は、驚くほどの速さで焼けた一手作りビザはこの上なく美味しかったので、誰もがお腹一杯食べました。今後は地域の方々の参加を願って楽しめる企画を考えたいと思います。

文教大学学園退職職員の会

会員数：58名
 問合せ先：〒146-0085 東京都大田区久が原1-32-2
 TEL 03-6410-9943 (担当：鈴木)

文教大学学園(旧立正学園)の職員であったことの喜びと誇りと栄誉を持つとともに、会員相互の親睦を図ることを目的に発足しました。再び活動できる日まで情報収集を行っていきます。



文教大学ビジネス同友会

会員数：260名
 問合せ先：〒142-0064 東京都品川区旗の台3-2-17
 TEL 04-7145-5036 FAX 04-7145-5036
 Mail bunkyo.bd@gmail.com
 HP http://bunkyobiz.net/



さまざまな職場で日々奮闘する同窓生が、縦横の繋がり、親睦を深めています。新入社員から60歳超のベテランまで、短大を含む全学部の文教OBが会員です。相互の交流から新しいビジネスが生まれたり、転職や再就職の芽をつかんだりできる同友会です。毎月、会員の中から講師を立て、オンラインでセミナーを開催。Zoomですから、全国に散っている会員同士も簡単に情報交換できます。大学各署とも協働している在学生支援も定着。就活でも後輩たちを支えています。



本会幹事と理事長が意見交換しています

文は人なり



読者の皆さまの「文」でつくるページです。

今回のテーマ

私の元気の秘けつ

元気の秘けつは朝活です。40代になり代謝が悪くなったことで体重が80kgを超えてしまいました。ショックで朝5時に早起きして20分(短めが長続きのコツ)のジョギングを始め、1年で6kg痩せることができました。ついでに弁当も手作りして出費も抑えています。毎日元気ですよ。

文教大学卒業
相川正史さん

ホットヨガです。大量の汗をかき体をほぐすと、血流が良くなり、体だけでなく、前向きな気持ちになります。心身共に元気になる感じです。

文教大学卒業
佐藤祐子さん

元気の秘けつは、少年野球をやっている長男の追っかけです。休日のたびに練習するグラウンドに出向き、私も一緒に練習しています。お陰で20歳のときと体重、体型が変わりません。仕事のストレスも、一気に発散できます。

文教大学卒業
小林聡樹さん

家族と過ごす時間は、懐かしい思い出の追体験や今まで興味を持つことのできた世界との出会いの連続で、とても刺激的。私の元気の秘けつは間違いなく、好奇心旺盛な子どもたちと、同じ文教卒ですが性格も興味関心の対象も異なる夫の存在だと思っています。

文教大学卒業
樹の芽さん

乳酸菌をとることで。R-1、ヤクルト、ピルクルなど、1日1回でも続けていくと、体調が良い感じがしました。おすすめです!

文教大学卒業
ぐんまKTさん

私の元気の秘けつは断然!大学院同期とのつながりです。今はそれぞれの現場で専門職として働く同期は、知識や経験でもとてもたよりになるし、今でも学生時代の話で大盛り上がりです!

文教大学卒業
戸田はるかさん

家と職場との往復の毎日。やはり気分転換が必要。私は「筋トレ」と「スポーツ観戦」が元気の秘けつです。仕事のことを一切忘れ、ジムでトレーニングに励む時間と、プロ野球やJリーグのスタジアム観戦が心をリセットしてくれます。

文教大学卒業
増田純一さん

フィットネスダンスのZUMBAです。大学1年生のときに出会って、卒業した今でも続けております。身体を動かしてストレス発散できることはもちろん、ZUMBAを通じて新たな人との出会いも。ZUMBAが私の元気の秘けつです。

文教大学卒業
嶋野知広さん

元気の秘けつはズバリ「ラジオ体操」。60年前、夏休み中の早起き活動にピッタリ!と、親子で体操会に入会。毎朝、笑顔で「♪新しい朝が来た!希望の朝～」を歌い、全身体操で心も体もスッキリ!コロナ禍で2年ぶりに開催の富士登山にも元気に参加でき、翌日も体調良好で「ラジオ体操」。皆さま!試してガッテン!!

立正女子大学短期大学部卒業
川内八重子さん

元気の秘けつ!は腸を冷やさない、ストレスをためない、ことです。数年前でしか鈍感力が大事とママ友と話したことがあります。最近では、コロナに感染しないように!!と神経を使いすぎて疲れを感じたときに鈍感力!!と

自分に言いかけせました。

文教大学女子短期大学部卒業
鮫島政代さん

私の元気の秘けつは毎日小さな出来事でも笑うことです。TVのバラエティーを観て大爆笑、勤務先の保育園で子どもたちとの会話。何かしらのことで笑っています!

文教大学付属高等学校卒業
大山ほたるさん

文教大学付属高等学校を卒業してから、早15年!理系の大学院を卒業後、ネットワーク(IT)エンジニアとして、システムインテグレートに8年携わっています。元気の秘けつは、好奇心を忘れないことでしょうか。IT系の業務に従事しながら、高校時代も校内で行われるボランティア活動に何回か参加していたこともあり、国際NGOでボランティア活動も行っております。

文教大学付属高等学校卒業
たかんさん

アンケートにご協力いただき
誠にありがとうございました!

読者アンケート・投稿のお願い

『あやなり-Bunkyo Pride-』は、皆さまからの声をもとに制作しています。同封の「アンケート用紙」やWebサイトからご意見をお寄せください。「文は人なり」の投稿もお待ちしております!

「文は人なり」次回のテーマ

夏のオリンピック・
パラリンピックで好きな競技・
楽しみにしている競技

近況や文教時代の思い出など、テーマ以外の投稿も大歓迎です!



編集後記

文教大学学園に関わる“人”や“場所”を紹介する『あやなり-Bunkyo Pride-』2023年度号を発行する運びとなりました。特集「文教よりみち散歩」では、Vol.2として越谷キャンパス周辺を紹介しています。初めて訪ねるときに寄ってみたい場所や、キャンパスに通っていても入ったことのないお店がたくさん掲載されていると思います。ぜひ新鮮な気持ちで散策してみてください。その他、大学公式マスコットキャラクターBUNKO作者の谷口さんが描いた華やかな表紙と、在校生・卒業生・恩師の魅力のお話を掲載しています。Webサイトと合わせてお楽しみください!

(理事長室 校友会担当 M.N)

※送付先住所は、各校友団体の協力を得て最新のデータで送付しておりますが、旧住所や宛名間違い等がございましたらご寛恕ください。その場合はご連絡いただけますと幸いです。

ぜひご登録を!
メールマガジンを始めます!

在校生・卒業生の活躍や学園の情報を発信するために、2023年度から校友の皆さまへメールマガジンを配信いたします。メールマガジンだけの特別な内容になります。ぜひメールアドレスのご登録をお願いいたします!



登録はこちら